

(別紙)

郵便入札におけるくじによる抽選方法

郵便入札において、開札の結果、落札となるべき同価格の入札をした者が2者以上の場合、下記の方法により落札者を決定する。

1. くじ番号の付与

開札の結果、落札となるべき同価の入札書類の郵送に用いられた書留郵便に付された「お問い合わせ番号」(以下「書留番号」という。)(11桁)の下3桁の小さいものから順に「くじ番号」(0、1、2・・・)を付与する。(※下3桁が同一の場合は、下4桁目以降高い桁の数字を順次参照し決する。)

業者名	書留番号	書留番号の下3桁	くじ番号
A社	***-**-03428-1	281	0
B社	***-**-13229-1	291	1
C社	***-**-24629-7	297	2

2. 落札者(候補者)の決定

- (1) 書留番号の下3桁の数字を合計し、その合計額を同額入札者の数で除算し、余りを算出する。
- (2) (1)で算出した余りの数と、上記1で付与したくじ番号が同一の入札参加者を落札者(事後審査型等の場合は、第1順位の落札候補者)とする。
- (3) 事後審査型等の入札において、第2順位及び第3順位の者を決定する場合は、第1順位のくじ番号に1を足したくじ番号の入札参加者を第2順位とし、第2順位のくじ番号に1を足したくじ番号の入札参加者を第3順位とする。

A社（書留番号下3桁） 2 8 1
 B社（書留番号下3桁） 2 9 1
 C社（書留番号下3桁） 2 9 7

合計 $281 + 291 + 297 = 869$
 余り $869 \div 3 = 289 \dots \underline{\underline{2}}$

順位	業者名	くじ番号	備考
1位	C社	2	余りの「2」と同一のくじ番号の『C社』が第1順位
2位	A社	0	$2 + 1 = 「3」$ のくじ番号が存在しないのでくじ番号「0」の『A社』
3位	B社	1	$0 + 1 = 「1」$ と同一のくじ番号の『B社』